

## 2. どんなところで水を取るの？ — 川から水を引く施設しせつ

### (1) 水をためておく…ダム

雨が少ない時には、どこかから水を引かなくてはなりません。しかし雨が少なければ、川の水も減って水を取れなくなります。

そこで、川の上流にダムを造って水をためておき、雨が少ない時でも水を使えるようにします。



まくべつ いなし べつがわ  
幕別ダム。稲士別川。



さつないがわ  
札内川ダム。このダムは、農業用水のほか水道や発電のためにも水をため、また洪水の被害を減らすなどいろいろな役割を持っている。(→ p20、p36、p52)

川で行われた大きな工事

川につながる  
ふだんの暮らし



さつないがわとうしゅこう  
札内川頭首工。せきで水位を上げ水を引きこむ。

### (2) 水を取る

札内川ダムの場合、水をダムからは取りません。水を取るの<sup>※2</sup>はダムから7km下流にある札内川頭首工です。せきと水を取り入れる施設があります。

ダムは、下流の流れが少なくならないように水の量を調整して流します。



川につながる農業

川につながる漁業や工業

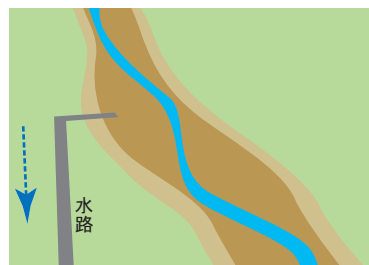
### (3) せきを造るわけ

川の水は、いつもたくさん流れているわけではなく、流れている場所も変わります。

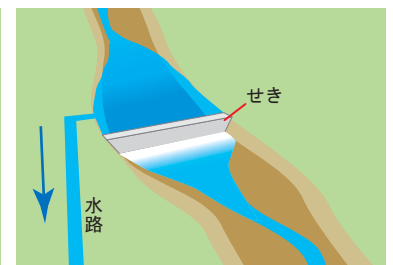
そうなのは、せき<sup>※3</sup>が水路を造っても水が流れこみません。

また、少しでも水面が高い方が流れこみやすくなります。

そこで、水を引く時にはせきを造って、水位を上げ川幅を広げておき、いつも水を取りこめるようにしています。



水が少ない時や流れが変わると引けない。



せきをつくると、いつも水を引きやすい。

付録

※2 頭首工(とうしゅこう)：川などから農業用水や工業用水を水路へ引きこむための施設。

※3 せき(堰)：取水のため、また流量や水位を調節するため、川の途中や湖・池の出口などに流れをさげぎって作られた構造物。